

京都式キャリアアップ研修内容

| 1 人 権 | | | |
|---|---|----------------------|--|
| 分野 | ねらい | 内容 | 具体的な内容 |
| 人 権 | ・自らの人権感覚を高め、人権を大切にすることを推進する。 | ①保育における人権 | ㊦子どもの最善の利益の尊重・一人一人の子どもの発達保障 ㊧人権が守られる環境づくり |
| 2 社会人・組織の一員としての基礎 | | | |
| 社会人・組織の一員としての基礎 | ・社会人としてのモラル、ルール、マナーを知り、組織の一員としての自覚を持つ。 | ①社会人としての基礎 | ㊦社会人としてのマナー・倫理観・コミュニケーション力 ㊧意欲・情熱・主体性・責任感・協調性・自制心・やりきる力 |
| 3 保育実践に必要な専門知識・技術 | | | |
| (1) 乳児保育・教育 (主に0歳・1歳以上3歳未満児向けの保育内容) | ・乳児保育・教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 修了には合計 15時間以上受 講が必要 </div> | ①乳児保育・教育の意義 | ㊦発達とそのメカニズム ㊧乳児保育・教育の役割と機能 ㊨乳児保育・教育の現状と課題 |
| | | ②乳児保育・教育の環境 | ㊦乳児保育・教育における安全な環境 ㊧乳児保育・教育における個々の発達を促す生活と遊びの環境 ㊨他職種との協働 |
| | | ③保育者の適切な関わり | ㊦乳児保育・教育における配慮事項 ㊧乳児保育・教育における保育者の関わり ㊨乳児保育・教育における生活習慣の援助や関わり |
| | | ④発達に応じた保育内容 | ㊦保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領について ㊧0歳児の発達と保育内容 ㊨1歳以上3歳未満児の発達と保育内容 |
| | | ⑤乳児保育・教育の指導計画、記録及び評価 | ㊦全体的な計画に基づく指導計画の作成 ㊧観察を通しての記録及び評価 ㊨評価の理解及び取組 |

| 分野 | ねらい | 内容 | 具体的な内容 |
|--|---|-----------------------------|---|
| <p>(2) 幼児教育・保育 (主に3歳以上児向けの 保育内容)</p> | <p>・幼児教育・保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた幼児教育・保育を行う力を養い、他の保育士等に幼児教育・保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>修了には合計 15時間以上受 講が必要</p> </div> | <p>①幼児教育・保育の意義</p> | <p>㊦発達とそのメカニズム ①幼児教育・保育の役割と機能及び現状と課題 ㊧幼児教育・保育と児童福祉の関係性</p> |
| | | <p>②幼児教育・保育の環境</p> | <p>㊦幼児期にふさわしい生活 ①遊びを通して学びに向かう力を育む環境構成 ㊧一人一人の発達の特性に応じた支援及び他職種との協働</p> |
| | | <p>③発達に応じた保育内容</p> | <p>㊦保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領について ①資質と能力を育むための保育内容 ㊧個々の子どもの発達の状況に応じた幼児教育・保育 ②教材研究</p> |
| | | <p>④幼児教育・保育の指導計画、記録及び評価</p> | <p>㊦全体的な計画に基づく指導計画の作成 ①観察を通しての記録及び評価 ㊧評価の理解及び取組</p> |
| | | <p>⑤小学校との接続</p> | <p>㊦小学校教育との接続 ①アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの理解 ㊧保育所児童保育要録・園児指導要録について</p> |

| 分野 | ねらい | 内容 | 具体的な内容 |
|-------------------------------|--|----------------------------|---|
| <p>(3) 支援を必要とする子どもの保育</p> | <p>・障がい児保育に関する理解を深め、適切な障がい児保育を計画し、個々の子どもの発達の状態に応じた障がい児保育を行う力を養い、他の保育士等に障がい児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>修了には合計 15時間以上受 講が必要</p> </div> | <p>①障がいの理解</p> | <p>㊦障がいのある子どもの理解 ㊧医療的ケア児の理解 ㊨合理的配慮に関する理解 ㊩障がい児保育に関する現状と課題</p> |
| | | <p>②障がい児保育の環境</p> | <p>㊦障がい児保育における個々の発達を促す生活と遊びの環境 ㊧障がいのある子どもと保育者との関わり ㊨障がいのある子どもと他の子どもとの関わり ㊩他職種との協働</p> |
| | | <p>③障がい児の発達の援助</p> | <p>㊦障がいのある子どもの発達と援助</p> |
| | | <p>④家庭及び関係機関との連携</p> | <p>㊦保護者や家族に対する理解と支援 ㊧地域の専門機関等との連携及び個別の支援計画の作成 ㊨小学校等との連携</p> |
| | | <p>⑤障がい児保育の指導計画、記録及び評価</p> | <p>㊦全体的な計画に基づく指導計画の作成と観察・記録 ㊧個別指導計画作成の留意点 ㊨障がい児保育の評価</p> |

| 分野 | ねらい | 内容 | 具体的な内容 |
|---------------------------|---|-----------------------------|--|
| <p>(4) 食育・アレルギー対応</p> | <p>・食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用ができる力を養う。</p> <p>・アレルギー対応に関する理解を深め、適切にアレルギー対応を行うことができる力を養う。</p> <p>・他の保育士等に食育・アレルギー対応に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>修了には合計 15時間以上受 講が必要</p> </div> | <p>①栄養に関する基礎知識</p> | <p>㊦栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能</p> <p>①食事摂取基準と献立作成・調理の基本</p> <p>㊧衛生管理の理解と対応</p> |
| | | <p>②食育計画の作成と活用</p> | <p>㊦食育の理解と計画及び評価</p> <p>①食育のための環境（他職種との協働）</p> <p>㊧食生活指導及び食を通じた保護者への支援</p> <p>㊨第三次食育推進基本計画</p> |
| | | <p>③アレルギー疾患の理解</p> | <p>㊦アレルギー疾患の理解</p> <p>①食物アレルギーのある子どもへの対応</p> |
| | | <p>④教育・保育施設等における食事の提供</p> | <p>㊦保育所における食事の提供ガイドラインの理解</p> <p>①食事の提供における質の向上</p> |
| | | <p>⑤教育・保育施設等におけるアレルギー対応</p> | <p>㊦保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの理解</p> <p>①アナフィラキシーショック（エピペンの使用方法を含む）の理解と対応</p> |

| 分野 | ねらい | 内容 | 具体的な内容 |
|--------------------------|---|------------------------------------|---|
| <p>(5) 保健衛生・安全対策</p> | <p>・保健衛生に関する理解を深め、適切に保健計画の作成と活用ができる力を養う。 ・安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができる力を養う。 ・他の保育士等に保健衛生・安全対策に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>修了には合計 15時間以上受 講が必要</p> </div> | <p>①保健計画の作成と活用</p> | <p>㊦子どもの発育・発達の理解と保健計画の作成 ①保健活動の記録と評価 ㊧個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（慢性疾患等）</p> |
| | | <p>②事故防止及び健康安全管理</p> | <p>㊦事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組 ①体調不良や傷害が発生した場合の対応 ㊧救急処置及び救急蘇生法について ②災害への備えと危機管理 ㊧他職種との協働</p> |
| | | <p>③教育・保育施設における感染症対策</p> | <p>㊦保育所における感染症対策ガイドラインの理解 ①教育・保育施設における感染症の対策と登園時の対応</p> |
| | | <p>④保育の場における血液を介して感染する病気の防止</p> | <p>㊦保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドラインの理解 ① 教育・保育施設等における血液を介して感染する感染症の対策と対応</p> |
| | | <p>⑤教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応</p> | <p>㊦教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインの理解 ①安全な環境づくりと安全の確認方法</p> |

| 分野 | ねらい | 内容 | 具体的な内容 |
|--------------------------------|--|--------------------------|---|
| <p>(6) 保護者支援 子育て支援</p> | <p>・保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育士等に保護者支援・子育て支援に関する助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>修了には合計 15時間以上受 講が必要</p> </div> | <p>①保護者支援・子育て支援の意義</p> | <p>㊦保護者支援・子育て支援の役割と機能 ①保護者支援・子育て支援の現状と課題 ㊧教育・保育施設等の特性を活かした支援 ③保護者の養育力の向上につながる支援</p> |
| | | <p>②保護者に対する相談援助</p> | <p>㊦保護者に対する相談援助の方法と技術 ①保護者に対する相談援助の計画</p> |
| | | <p>③地域における子育て支援</p> | <p>㊦社会資源の理解 ①地域の子育て家庭への支援 ㊧保護者支援における面接技法</p> |
| | | <p>④虐待予防</p> | <p>㊦児童虐待の実態 ①児童虐待の事例分析 ㊧児童虐待の予防と対応</p> |
| | | <p>⑤関係機関との連携、地域資源の活用</p> | <p>㊦保護者支援・子育て支援における専門職及び関係機関との連携 ①保護者支援・子育て支援における地域資源の活用 ㊧「子どもの貧困」に関する対応</p> |

| 分野 | ねらい | 内容 | 具体的な内容 |
|-----------------------|--|---------------------|--|
| <p>(7) マネジメント</p> | <p>・主任保育士・主幹保育教諭の下でミドルリーダーの役割を担う立場に求められる役割と知識を理解し、自園の円滑な運営と保育の質を高めるために必要なマネジメント・リーダーシップの能力を身に付ける。</p> <div data-bbox="434 667 669 839" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>修了には合計 15時間以上受講が必要</p> </div> | <p>①マネジメントの理解</p> | <p>㊦組織マネジメントの理解 ①教育・保育施設等におけるマネジメントの現状と課題 ㊧関係法令、制度及び保育指針・教育保育要領についての理解 ②他専門機関との連携・協働</p> |
| | | <p>②リーダーシップ</p> | <p>㊦教育・保育施設等におけるリーダーシップの理解 ①職員への助言・指導 ㊧他職種との協働</p> |
| | | <p>③組織目標の設定</p> | <p>㊦組織における課題の抽出及び解決策の検討 ①組織目標の設定と進捗管理</p> |
| | | <p>④人材育成</p> | <p>㊦職員の資質向上 ①保育実習への対応 ㊧園内研修の考え方と実践 ②実践研究の取組 ③実践研究の交流・公開保育</p> |
| | | <p>⑤働きやすい環境づくり</p> | <p>㊦雇用管理 ①職員のメンタルヘルス対策</p> |
| <p>(8) 保育実践</p> | <p>・子どもに対する理解を深め、保育者が主体的に様々な遊びと環境を通じた保育の展開を行うために必要な能力を身に付ける。</p> <div data-bbox="434 1142 669 1342" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>修了には合計 15時間以上受講が必要</p> </div> | <p>①保育における環境構成</p> | <p>㊦子どもの感性を養うための環境構成と保育の展開</p> |
| | | <p>②子どもとの関わり方</p> | <p>㊦子どもに寄り添う共感的な対応 ①指導・援助・見守り等の実践</p> |
| | | <p>③身体を使った遊び</p> | <p>㊦身体を使った遊びの展開</p> |
| | | <p>④言葉・音楽を使った遊び</p> | <p>㊦言葉を使った遊びの展開 ①音楽を使った遊びの展開</p> |
| | | <p>⑤物・自然を使った遊び</p> | <p>㊦物を使った遊びの展開 ①自然を使った遊びの展開</p> |